



第52号

(発行所)

真宗大谷派

松岡山 廣讚寺

中村区城屋敷町3-30

TEL (052) 411-5301

FAX (052) 411-5341

携帯 090-1568-4623

E-mail: kousan-temple@trad.ocn.ne.jp

四月十五日 吉崎御坊参詣

北陸路は快晴で桜の花・菜の花・花桃・その他いろいろの花が一斉に咲き、北国の遅い春が真っ盛りであった。

御縁にて至福の一日花御坊

荒海や蓮如上人花の丘

しあわせのたねまくおしえ花の寺

(願慶寺にて嫁威肉付面縁起のお話を聞く)

春日和はるか雪嶺輝けり

身の程のしあわせ色に犬ふぐり

えみ子

この度は御坊様参詣の旅に参加させていただきありがとうございました。うございました。

車内で二十余年前のDVDを拝見しました。皆様がお若いころのお姿に、思わず驚きの声が聞こえました。若いということは何と素晴らしいことか、あゝあんな時が誰にでもあったのだなあと感じひとしおでした。

花のいろは

うつりにけりな

いたづらに

我身世にふる

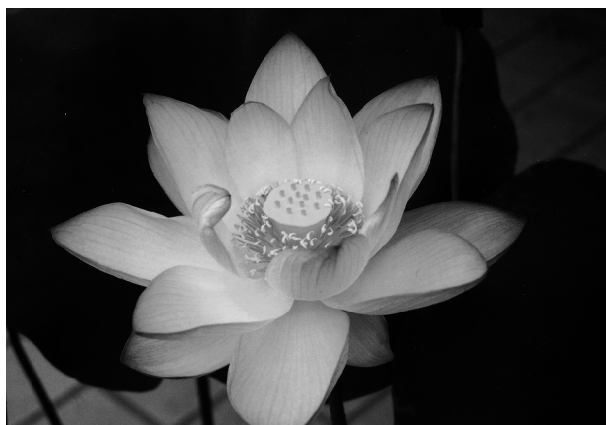
ながめせしまに

小野小町

当日はお天気に恵まれ

遠くの嶺みねには残雪が白く

光り、山里では花盛りの北国ならではの素晴らしい景色も満喫できました。



(寺西税 撮影)

誰だかわかるかな？

伊藤和美

廣讚寺では、復興永代経、報恩講の行事の後に文化祭を開いている。

そこでは、舞踊・民謡・詩吟・楽器演奏、そして芝居が行われる。芝居の原作者は前住職で、廣讚寺同朋会員や学習会のメンバーで芝居を行う。

始まりは、平成八年に蓮如上人五百回御遠忌の記念公演として『蓮如』という芝居が前進座によって催された。場所は中日劇場であった。役者が不足しているという事態に、廣讚寺門徒へ出演依頼がきた。農夫の役を演じた。さて、その時の記念写真。誰だかわかるかな？

出演者は、

伊藤和美、寺西税、秋田末廣、角田庄吉、松田文雄、
今井輝雄、鈴木明、秋田都三、秋田忠俊、林高寺住職



その二年後には鶴舞公園内の勤労会館でも公演された。
その時の記念写真。誰だかわかるかな？

出演者は、

伊藤和美

今井ひで子

岩田たけ子

栗崎光子

秋田末廣

瀬瀬きみゑ

津田佳代子



ご命日の集いに参加して

M
M

ご命日の集いの法話は毎回違った寺で聞けるので楽しい。今回は遍慶寺へんきやうじさんで開催された。佐屋街道の宿場町の中にあつて、細い路地に古い家々に囲まれ溶け込んだ寺であつた。

今回の講師は西祐寺さいゆうじの前任職、廣瀬務師であつた。廣讚寺住職のお父様であるので、廣讚寺同朋会の方々も多く来てみえた。

「私はプロの説教師ではない」

と謙遜けんそんされていましたが、多くの経験から広い視野に裏打ちされて内容が多岐にわたり、少しアカデミックなところもありましたが、ありがたい、よく分かる法話だつた。特に印象深く思ったことをあげてみますと、

一、仏法を学び、歓喜したことはありませんか？

私は一瞬ドキッとなりました。それとなく教わつた自信じしん教人信きやうにんしんのことなのかなと自問自答していました。

二、僧侶としての自己批判

これはなかなか出来ることではない。自分の悪かったことを人の前で反省することは日常生活からは難しいと思う。親鸞聖人の入滅後から近・現代まで、念仏の教えを護り民衆に伝えることを怠ったのではないか。戦国時代の各地で起こった真宗門徒の過激な一向一揆は、過ぎたるは及ばざるがごとしで、江戸時代の寺請制度を生むことになる。自業自得でしょうか、僧侶も檀家も信心信仰への手足をもぎとられてしまった。

明治時代の廃仏棄釈は最悪な状況であったが本願寺の島地しまぢもくろい黙雷あつみかいえんや渥美契縁きよざわまんしに清澤満之らによって、ようやく危機から脱出した。しかし、葬式仏教と蔑さげすまれつつも少しずつ僧侶・門徒も信仰本来のあり方に戻りつつあるようだ。

そして最後に、前回の蓮如上人御遠忌のテーマ「バラバラでいっしょ・差異をみとめる世界の発見」を説明された。宗教ごとに違ったことをしているが、それを認め合い、仲よく平和な生活をしてほしいと。

行事予定

七月 十四日(土) 七時半 同朋委員会・例会 (役員は七時)

十九日(木) 二時 学習会

二十二日(日) 六時半 納涼大会 (雨天決行)

◆◆ 納涼大会 ◆◆

人形劇
金魚すくい・輪なげ・
ビンゴ大会などなど…
楽しい催しものがいっぱい。
どなたでもご参加ください。

二十三日(月) 九時 後片付け

二十八日(土) 十時 二十八日講・女人講

八月 十一日(土) 七時半 同朋委員会・例会 (役員は七時)

十九日(日) 二時 学習会

二十八日(火) 十時 二十八日講・女人講